

令和5年度 学校評価 自己評価書(3学期)

1 学校の重点事項

<p>【知・体】学び合う学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協働学習を通じた「学びの共同体」づくりの推進(一学校一改革)</li> <li>・ 一人一運動(体幹トレーニング)の実践と継続</li> </ul> <p>【徳】 正義が通る学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長所を認め、伸ばし、改善点を考えさせる指導</li> <li>・ 見逃さない、見過ごさない、見捨てない指導(心と身体を守る)</li> </ul> <p>【環境】 きれいな学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 異年齢清掃班による「縦割無言作業」の継承と充実</li> <li>・ 「そろえる美学」の理念の共有と実践</li> </ul>
--

2 課題と改善策(1・2・3・4の4段階評価)

	評価項目	職員	今後の改善方策
経営全般	1 学校は、やる気と活気に満ちており、明るく楽しい。	3.1	・生徒会活動の活性化と「協働学習」の継続的な取組
	2 学校は、自由と規律の調和が取れている。	3.0	・各種調査を踏まえた生徒理解と生徒心得(校則)の柔軟な運用と継続的な見直し
	3 学校は、敬愛と信頼で結ばれ、学ぶ喜びに満ちている。	2.9	・教職員の服務に関する研修の充実と生徒が主体となる授業改善の研究
	4 学校は、礼儀正しく品性がある。	2.9	・学年間の連携の強化と子弟同行、率先垂範の意識化
	5 学校は、花と緑が美しく潤いがある。	3.2	・「縦割り無言作業」等への継続的な取組
重点項目	1 教育活動全体を通じた道徳教育の充実と「道徳の時間」の計画的な実施	3.1	・道徳の全体計画の見直しと「ローテーション授業」による指導方法の工夫改善
	2 協働学習を通じた「学びの共同体」づくりの推進	3.5	・計画的な研究授業の実施と相互授業参観を通じた職員研修の実施
	3 「学び合いのマナー」の推進	3.6	・あじさい週間における「学び合いのマナー」の習得と実践(生徒会活動も含む)
	4 自己肯定感・所属感を高める教育の推進	3.2	・アンケート等の継続的な実施と教育活動全般を通じた自己肯定感を高める教育の推進
	5 いじめの防止や早期発見につながる「正義の通る学校」づくり	3.1	・教育相談の充実と問題行動等に対する組織的な対応と家庭・関係機関との積極的な連携
	6 保護者と連携した安全・保健指導及び給食指導の充実	3.2	・定期的な安全点検、校区内危険マップの見直し及び給食指導体制の確立
	7 生徒の適性に応じた系統的な進路指導の推進	3.2	・系統的な進路指導の実践と適切な進路情報の提供(Web出願等)
	8 学校行事や部活動への積極的な取組	3.1	・学校行事における計画的・組織的な運営及び部活動再編による指導体制の充実
	9 生徒一人一人に対する特別支援教育の視点に立った適切な指導及び支援	3.1	・全職員が参加する特別支援教育委員会の充実と学習支援体制の確立
	10 全ての教育活動における人権同和教育の推進	3.2	・教職員の人権意識の向上と人権学習の計画的な実施
	11 自分の生き方を考えて行くための「総合的な学習の時間」の充実	3.4	・SDGsや平和学習を基盤とした体験的学習や問題解決的学習の工夫
	12 ICT教育機器を利用した授業の推進と情報モラル教育の充実	3.2	・情報教育の内容を細分化した指導体制の確立とタブレット等を活用した校内研修の実施
	13 「9時OFF運動」の推進	2.4	・生徒会活動、PTA(保健体育部)と連携した啓発活動の実施
	14 「縦割り無言作業」を通じた教育環境の整備と充実	3.4	・縦割り無言作業に関する共通理解及び作業用具、作業内容、人数割り等の見直し
	15 PTA・地域等との連携強化	3.1	・PTA運営委員会、専門委員会への参加と積極的な情報交換
	16 学校における業務改善(簡素化、効率化、業務改善の意識化)の推進	2.7	・定期的な実態調査の実施と、1アクション、1トライの設定

3 次学期に向けての取組

- (1) 協働的に学び合う授業・学級・学校づくりの推進
  - ・ 「あじさい週間」の充実
- (2) 実績と課題の明確化
  - ・ 実績を単年度で整理し、評価する。そして、次年度の準備をする。
- (3) 生徒理解に立った言動を意識する。
  - ・ 自尊感情を高める指導の工夫